

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	福祉部高齢福祉課
施設名称	12	東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H31.4.1 ~ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延床面積 3,937.96㎡のうち3,363.41㎡ SCR造 地上7階地下2階 相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般浴）など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。 [自主事業] 空床利用ショートステイ
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 37名 (内 訳) 施設長 (1) 事務員 (2) 相談員 (1) 介護職員 (常勤21 非常勤4) 看護職員 (常勤4) 介護支援専門員 (1) 栄養士 (1) 機能訓練指導員 (非常勤2) (前年増減) 事務員 (常勤+1) 介護職員 (常勤+1) 看護職員 (常勤+1)

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	61,467,000	61,467,000	62,031,000	62,031,000
	利用料金収入	221,182,000	229,371,964	221,182,000	238,265,965
	その他収入（施設整備等積立資産取崩収入等）	1,627,000	9,212,806	1,063,000	63,091,344
	計	284,276,000	300,051,770	284,276,000	363,388,309
支出	人件費	182,800,000	184,848,837	193,491,000	202,945,748
	光熱水費	22,356,000	21,708,257	22,356,000	22,710,840
	維持管理費（委託料・賃借料）	35,307,000	36,428,875	35,307,000	40,361,414
	修繕費	2,000,000	1,909,006	2,000,000	2,184,127
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（退職給付引当資産支出等）	41,813,000	74,960,199	31,122,000	99,111,120
計	284,276,000	319,855,174	284,276,000	367,313,249	
収支			-19,803,404		-3,924,940

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
入所定員	人	50	50	50	50

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率	%	96.4	94.6	95.4	96.1
利用者数	人	17,600	17,258	17,411	17,578

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
光熱水費削減のため、区の「夏季節電対策」に基づき、節電の取り組みを行った。	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を順守し、区への報告書等も適切に期限内に提出している。防災委員会・防災訓練を毎月実施し、災害に備えて備品の整備・備蓄をするなど危機管理対応に努めている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	法令に基づく配置基準以上の人員・有資格者を配置している。新規入所者の獲得のため、積極的に施設見学者の対応を行い、空床型ショートステイの活用と併せて、空床期間の短縮に取り組み、全体の利用率が向上した。地域福祉拠点の役割も担っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施。年度末は新型コロナウイルス感染症対策も加わり、例年より衛生管理を徹底して行った。光熱水費の経費が増となったことから、より一層の省エネに対する取組みが必要である。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	入所者と家族を対象に満足度調査を実施し、感謝の言葉や新型コロナウイルス感染症対策の配慮への評価を得ている。また、年に1度、第三者委員の参加による「会議」を実施するなど、利用者の意向に沿ったサービス向上を図った。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	昨年より利用率は増加しており、利用料金収入は安定して推移している。業者都合による委託料支出増で、維持管理費が予算を上回った。マイナス収支ではあるが、人件費関連の積立等によるものであり、全体的には適正な予算執行が行われている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (96 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>事業計画や収支予算に基づき、適切に事業が執行されている。配置基準以上の人員・有資格者を配置し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底している。空床型ショートステイによる空床期間の短縮への取り組みなど、利用率向上に努めている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>利用料金収入増など、収支の状況は昨年度より改善されている。業者要因ではあるが委託料が増大しているため、内容を見直し、より一層の効率的運営を行うことが必要である。</p>